

登壇者略歴

宮本 泰明 (みやもと やすあき)

所属 役職

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

福島研究開発部門 福島研究開発拠点 所長

兼 福島研究開発部門 企画調整室長



- 1987年 動力炉・核燃料開発事業団に入社
分子レーザー法ウラン濃縮技術開発に従事
◆レーザー開発を担当
- 1998年 放射性廃棄物処理技術開発及び技術評価に従事。
◆レーザー除染技術開発（レーザー開発の経験を活用）
◆溶融除染を含む高温溶融技術の評価、放射能測定技術開発、等
- 2007年 日本原子力研究開発機構のバックエンド対策（放射性廃棄物管理・処理・処分、原子力施設廃止措置）の計画策定に関する業務に従事
- 2010年 原子力学会賞（技術賞）を受賞
「空気電離イオンに着目した α 放射能測定に関する物理現象の解明と測定装置・手法の開発」
- 2011年 福島第一原子力発電所事故対応に従事
◆廃止措置に向けた取組みの中で、特に放射性廃棄物の処理・処分に向けた分野を担当
- 2013年 国際廃炉研究開発機構（IRID）の設立とともに兼職（開発計画部 副部長）
◆廃止措置に向けた取組みの中で、特に放射性廃棄物の処理・処分に向けた分野の研究開発を担当
- 2016年 日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門 廃炉環境国際共同研究センター（CLADS） 研究推進室長
◆富岡町の避難指示の解除（2017年4月）に合わせて同町に国際共同研究棟を整備・運用
- 2018年 日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門 企画調整室長
- 2022年 現職